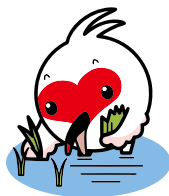


4. 新潟県の農業



新潟県の農業のようすはどうなっているだろう。どこで、どんなものがつくられ、農家の人々はどんな工夫をしているのか調べてみよう。

●新潟県農業のようすと全国順位

区分	新潟県	全国	全国順位	調査年
総農家数	62,556戸	1,746,990戸	5	令和2年
耕地面積	166,000ha	4,239,000ha	2	令和7年
	うち田	147,400ha	2	
	うち畑	18,600ha	22	
農業産出額	3,103億円	107,801億円	14	令和6年
	うち米	2,069億円	1	

農林水産省「農林業センサス」ほか農林水産省統計情報

① 農業で働く人々のようすはどうなっているの？

県内には農家が約6万戸あり、全国で5番目ですが、年々減っています。また、農業の所得が中心である主業経営体が少なく、農業以外の所得が中心の準主業経営体のわりあい全国より高くなっています。

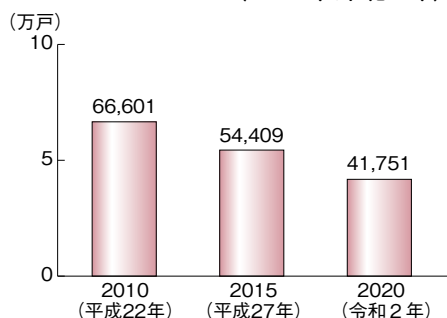
これは、新潟で盛んな稲作を中心に農業の

機械化がすすみ、少ない労働力ですむようになったため、農業以外の仕事と両立できるようになったからです。

また、農業をする若い人が減って、高れい^{わか}の人のわりあいが多くなってきています。

●販売農家数の移りかわり

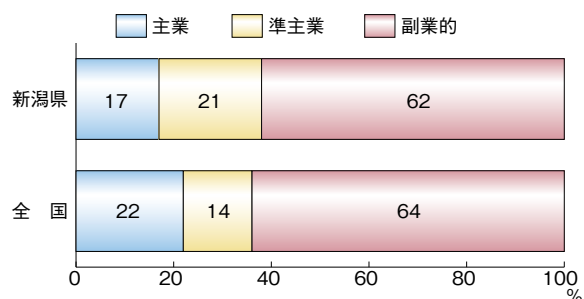
(2020年、令和2年)



農林水産省「農林業センサス」

●主副業別個人経営体のわりあい

(2020年、令和2年)

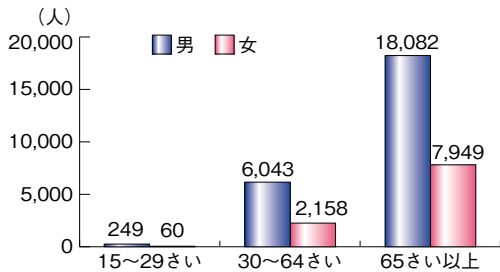


農林水産省「2020農林業センサス」

※販売農家…田んぼや畑で作物を作っている面積が30アール以上あるか、米や野菜などを売った金額が1年間で50万円以上の農家。
 主業経営体…農業所得が主で、1年間に自営農業に60日以上従事している65歳未満の世帯員がいる個人経営体。
 準主業経営体…農外所得が主で、1年間に自営農業に60日以上従事している65歳未満の世帯員がいる個人経営体。
 副業経営体…1年間に自営農業に60日以上従事している65歳未満の世帯員がいない個人経営体。

● 性別、年齢別の主に農業に従事している人の数

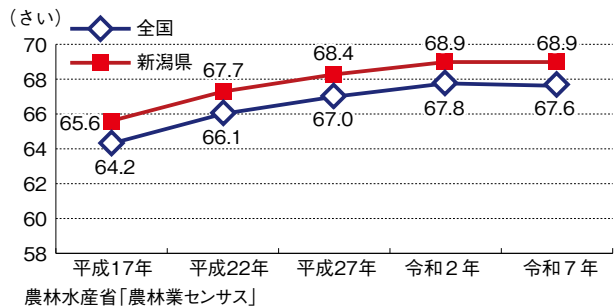
(基幹的農業従事者：2025年、令和7年がい数)



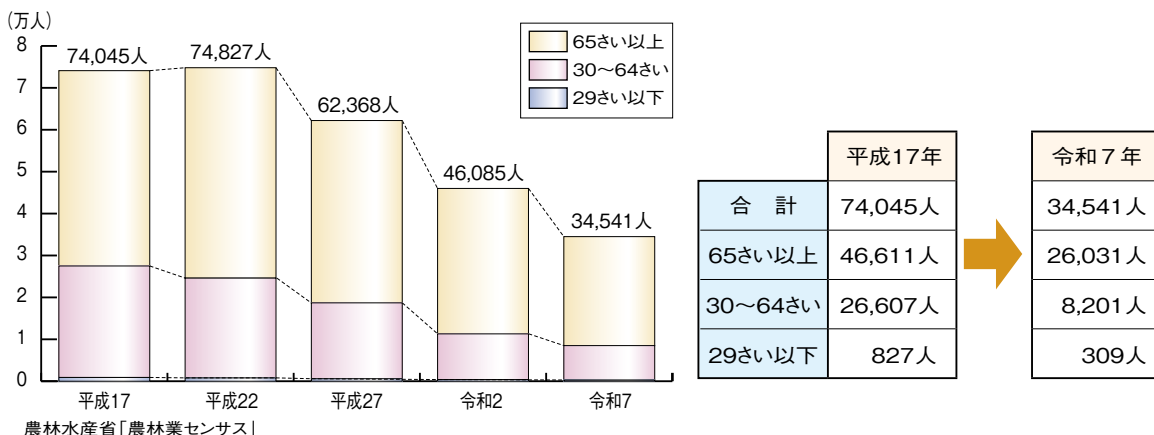
※基幹的農業従事者…ふだん仕事として自営農業している人
農林水産省「農林業センサス」

● 農業を主にしている人の平均年齢の移りかわり

(基幹的農業従事者2025年、令和7年がい数)



● 主に農業に従事している人の年齢構成の移りかわり (基幹的農業従事者)



● 新たに農業を始めた人の数

年度	平成17	平成22	平成27	平成28	平成29	平成30	令和元	令和2	令和3	令和4	令和5	令和6
人数	189	245	285	276	273	283	279	273	297	265	290	236
うち農業法人に勤める人	28	137	146	153	147	157	175	166	192	157	163	154

新潟県調査

学校を卒業した若い人や、勤めをやめて新たに農業を始める人がここ数年は毎年280人くらいいます。

また、農業法人の数は年々増えていて、平成17年と比べて約3倍になりました。

※農業法人…農業を行う会社のこと。農業法人は、個人農家よりも作付面積が大きく、大型機械の利用などで効率のよい農業を行っている。

● 農業法人の数

